

除草剤 緑地管理用

エスプラネード®

ライトフロアブル

エスプラネードライトフロアブル施用による
刈取りゼロを実現する除草技術
有用な新技術システム (NETIS)
登録活用促進技術にも選定

登録商標 第5611751号

NETIS新規登録取得技術

NETIS番号:KT-200114-A

経済性の向上 **76.31%**

作業性の向上 **85.56%**

・安全性向上 ・リスクなし

(飛び石、刈刃接触事故、振動障害)

※ 従来技術：肩掛式エンジン刈り払い機での除草



NETIS登録製品に
ついてはこちら



雑草の発生を長期間抑制

新技術情報システム(NETIS)

エスプラネードライトフロアブル施用による刈取りゼロを実現する除草技術

年2回(春・秋)エスプラネードライトを施用することにより、年間を通じて発生前の一年雑草を抑制し刈取りゼロを実現する技術。

既発生の雑草がある場合は
茎葉処理剤の混合が必要です。



エスプラネードライト使用のメリット

- ✓ 飛び石、切創等
- ✓ 夏場の熱中症
- ✓ 刈刃接触事故
- ✓ ケーブル切断



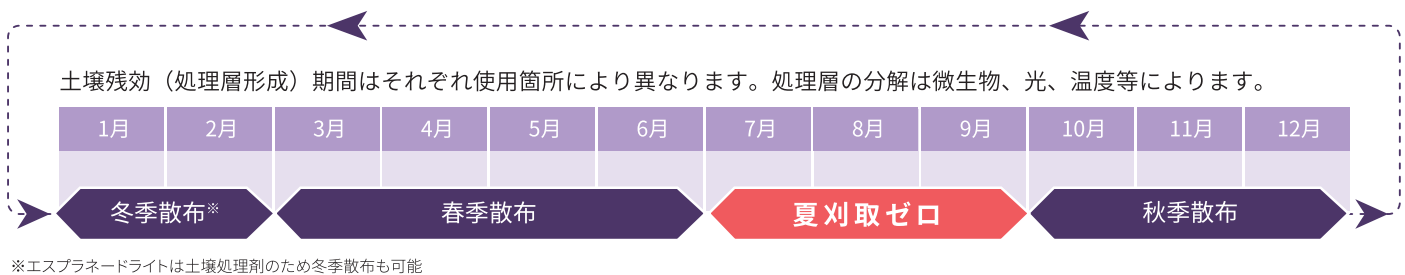
労働災害・輸送リスクの軽減

作用機構と製剤特性

植物の細胞壁を構成する不溶性セルロースの生合成を阻害し植物の生長に不可欠な細胞壁の生成、細胞分裂、細胞伸長ができなくなり枯死に至ります。薬剤は土壌の表面に処理層を形成し、種子から伸び始めた雑草の芽と根から吸収され、雑草を生育する前に枯死させます。

他剤と混合する場合は、
本製品を最初に投入してください

防除体系



のり面への2年間刈取りゼロを実現



2018年5月28日



2019年11月25日

試験場所	散布日	
兵庫県	2018年5月28日	※インダジフラム19.1% 0.075mL/m ² デスティニーWDG
	2018年11月22日	
	2019年5月23日	
	2019年11月19日	

※インダジフラム19.1%0.075mLはエスプラネードライト0.2mL相当の薬量
※エスプラネードライトは多年生雑草に効果はありません

除草剤 緑地管理用

・農林水産省登録 第24259号
・NETIS番号:KT-200114-A

道路除草、毎年の刈取りゼロを実現



2018年10月19日



2019年8月1日

試験場所	散布日	薬剤
山口県	2018年 10月19日	■エスプラネードライト0.2mL/m ² ■ラウンドアップ2mL/m ²
	2019年 3月28日	■エスプラネードライト0.2mL/m ² ■フレピオン3mL/m ²
	2019年 10月31日	■エスプラネードライト0.2mL/m ²



2020年10月22日



2020年10月22日

試験場所	散布日	薬剤
山口県	2018年10月19日	■エスプラネード ライト0.2mL/m ² ■ラウンドアップ2mL/m ²
	2019年3月28日	
	2019年11月1日	
	2020年6月23日	
	2020年10月22日	

殺草スペクトラム

科 名	和 名	発生前処理 散布薬量 (mL/m ²)		
		0.1	0.15	0.2
イネ科	メヒシバ	●	●	●
	エノコログサ	◎	●	●
	イヌビエ	●	●	●
	ニワホコリ	●	●	●
キク科	オオアレチノギク	●	●	●
	アレチノギク	●	●	●
	ヒメムカシヨモギ	●	●	●
	ヒメジョオン	●	●	●
	ハハコグサ	●	●	●
	ハキダメギク	●	●	●
	マメカミツレ	●	●	●
	オニタビラコ	●	●	●
	トキンソウ	●	●	●
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	●	●	●

科 名	和 名	発生前処理 散布薬量 (mL/m ²)		
		0.1	0.15	0.2
ナデシコ科	ハコベ	●	●	●
	オランダミナグサ	●	●	●
トウダイグサ科	エノキグサ	◎	●	●
	コニシキソウ	◎	●	●
マメ科	ヤハズソウ	●	●	●
	スズメノエンドウ	●	●	●
	カラスノエンドウ	●	●	●
アブラナ科	タネツケバナ	●	●	●
	ナズナ	●	●	●
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	◎	◎	●
シソ科	ヒメオドリコソウ	●	●	●
	ホトケノザ	●	●	●
クワ科	クワクサ	●	●	●
タデ科	イヌタデ	●	●	●

●:残草0% ◎:残草1-5% ○:残草6-10% □:残草11-30% △:残草31-50% ×:残草51%以上

(日植調委託試験結果、社内試験より)

効果安定のためには、0.15mL/m²以上を推奨します。

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	総使用回数*
				薬量	希釈水量		
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	一年生 雑草	雑草発生前	0.1～0.2mL/㎡	25～300mL/㎡	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 全面土壌散布	2回以内

※印は本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を含む

有効成分と性状

種 類 名	インダジフラム水和剤
商 品 名	エスプラネードライトフロアブル
有効成分	インダジフラム……7.4%
性 状	類白色水和性粘稠懸濁液体
荷 姿	1L×2本

人畜・水産動植物に対する安全性(製剤)

人畜毒性	経 口	ラット	LD50>5,000mg/kg
	経 皮	ラット	LD50>2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼に対する刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に 対する影響	コ イ		LD50 4.74mg/L (96hr)
	オオミジンコ		EC50 149mg/L (48hr)
	藻類(緑藻)		ErC50 1.35mg/L (0-72hr)

水産動植物の被害防止等に関する注意事項はありません。

周辺作物に対する影響(茎葉処理)

薬剤、 標準 薬量 (/㎡)	エスプラネード ライト (0.13mL)			A剤 (1mL)			B剤 (1g)			茎葉 処理剤 A (1mL)
	× 1	× 1/10	× 1/100	× 1	× 1/10	× 1/100	× 1	× 1/10	× 1/100	× 1/10
倍率	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
水稻	×	—	—	×	×	—	×	×	—	—
ダイズ	×	—	—	×	×	—	×	×	—	++
キュウリ	×	—	—	×	×	++	×	×	—	++
ナス	—	—	—	×	×	++	×	×	—	++
小松菜	×	—	—	×	×	—	×	×	—	×

— (薬害無) ++ (許容外) × (枯死) 処理水量 200mL/㎡

A、B剤より周辺作物に対する影響のリスクは少ないと考えられますが、
周辺作物への飛散に注意してください。

樹木、果樹に対する影響(社内および委託試験)

処理方法	茎葉処理		株元処理	
	薬 量 (/㎡) 水 量 (/㎡)	0.008mL 200mL	0.02mL 100mL	0.08mL 200mL
コノテガシワ(品種:エレガントシマ)	—	—	—	—
サクラ(品種:ソメイヨシノ)	—	—	—	—
ツツジ(品種:クルメ)	—	—	—	—
マツ(品種:黒松)	—	—	—	—
サツキ(品種:不明)	—	—	—	—
ネズミモチ(品種:不明)	—	—	—	—
スギ(品種:不明)	—	—	—	—
ベニカナメモチ(品種:レッドロビン)	—	—	—	—
ブドウ(品種:デラウェア)	—	—	—	—
温州ミカン	—	—	—	—
白桃	—	—	—	—
キウイ	—	++	—	±
リンゴ(品種:津軽姫(土壌処理)) (品種:王 林(茎葉処理))	—	±	—	—
ナシ(品種:豊水)	—	—	—	—

— (薬害無) ± (微、回復) ++ (許容外) 空欄は未検討

キウイ、リンゴを除くいずれの樹種に対しても薬害は認められませんでした。
しかしながら、樹木、果樹に飛散しないように十分に注意してください。

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 本剤は一年生雑草の発生前に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください。
- 既に雑草が発生している場合には茎葉処理型除草剤と組み合わせて使用してください。
- 激しい降雨の予想される場合は使用を控えてください。
- 散布液の飛散、流出による有用作物への薬害に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 貯蔵上の注意事項

○直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



エンバイロサイエンスジャパン株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 www.jp.envu.com

EnvuとEnvuのロゴはエンバイロサイエンスU.S.社またはその関連会社の商標です



お問い合わせ先